

DX推進支援 システム導入編

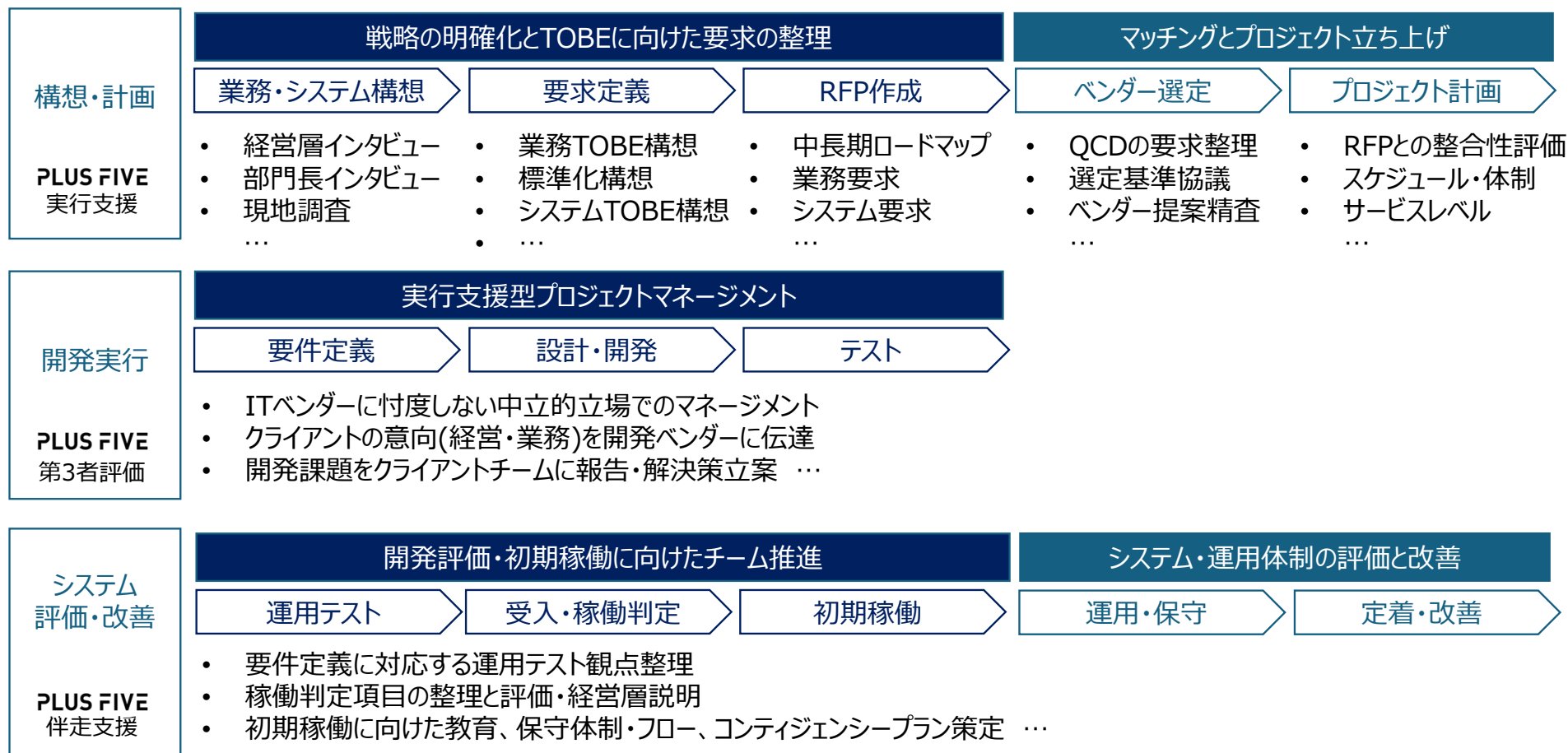
プラスファイブ株式会社

- 1 .システム導入のステップと推進イメージ
- 2 .戦略の明確化とTOBEに向けた要求の整理
- 3 .実行支援型プロジェクトマネジメント
- 4 .開発評価・初期稼働に向けたチーム推進
- 5 . プラスファイブのコンサルティングサービス

1.システム導入のステップと推進イメージ

PLUS FIVE

構想・計画フェーズからシステム稼働開始まで、**要求に応じたシステムを完成させる**ための実行・評価・伴走支援を実施します。



2.戦略の明確化とTOBEに向けた要求の整理(1)

PLUS FIVE

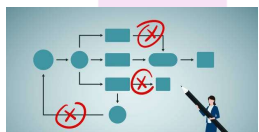
システムの構想からベンダー選定までの構想・計画フェーズについては以下の活動を通して**実行支援**いたします。

- ① 経営層・部門管理者インタビュー
経営・部門目標や課題をヒアリング

企業や部として目指す姿を定義



- ② 現地調査
業務の流れを詳細に把握・課題の創出



業務の可視化と課題創出

- ③ 業務標準化
現場単位で手法が異なる業務の流れを統一



シンプル化された業務
(*詳細は次頁)

- ④ 業務のTOBE
標準化された新業務フローを要求事項として整理



あるべき業務の姿

- ⑤ システムのTOBE
業務を支える最適な道具としてのシステムの要求事項を整理



あるべきシステムの姿

RFP(提案依頼書)イメージ

基本情報 背景と目的	<ul style="list-style-type: none">会社、組織の紹介プロジェクト概要現状の業務、システム課題導入の目的期待される未来
業務要求	<ul style="list-style-type: none">対象業務範囲現状の業務フロー新業務フロー
システム要求	<ul style="list-style-type: none">機能要求非機能要求外部連携要件
開発・導入範囲	<ul style="list-style-type: none">開発範囲と除外範囲カスタマイズ/スクラッチデータ移行要件教育要件運用サポートに関する要件
スケジュール要件	<ul style="list-style-type: none">リリース次期マイルストーン
契約・条件面	<ul style="list-style-type: none">契約形態保守契約有無支払いに関する要件著作権や再利用の取り扱い

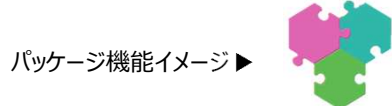
2. 戦略の明確化とTOBEに向けた要求の整理(2)

PLUS FIVE

業務要件からシステムの機能を決めるにあたり、Fit To Standardの考え方を採用し、クライアント様独自の業務標準を定義し、現場へのFit & Gapを実施することでムラやムダのないシステム化を実現します。このアプローチの詳細は以下の通りです。

1. パッケージベンダーが行うFit to Standard

①標準（Standard）は パッケージの機能



②パッケージがサポートしない業務は無条件に
パッケージに合わせる



結果として不足する機能はカスタマイズ開発など実施しなければならない。

2. クライアント業務標準を軸としたFit to Standard

①業務調査結果と現行システム仕様をもとに
各拠点の要求を鑑みた標準機能を定義する

業務調査結果



■例

- ・ 見積登録機能の標準
- ・ 受注登録機能の標準
- ・ 調達機能の標準
- ・ 生産計画機能の標準
- ・ 製造指示の標準
- ・ 品質管理の標準
- ・ 物流管理の標準 他

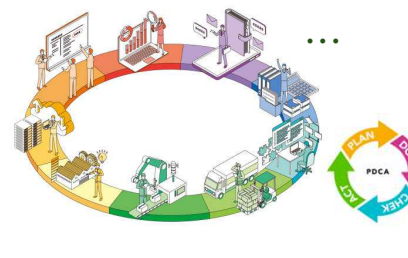
クライアントの
標準業務機能

②標準機能をもとに画面イメージや
機能を設計・プロトタイプ開発の実施



③現場担当者とのFit & Gapにより
更なる精緻化を実施

【複数の営業所・拠点など】



④各拠点の利用イメージ浸透と
シンプル化された画面定義が
完成する。
また、システムという観点で
業務整理やシンプル化も一部実現。

標準機能の定義完了

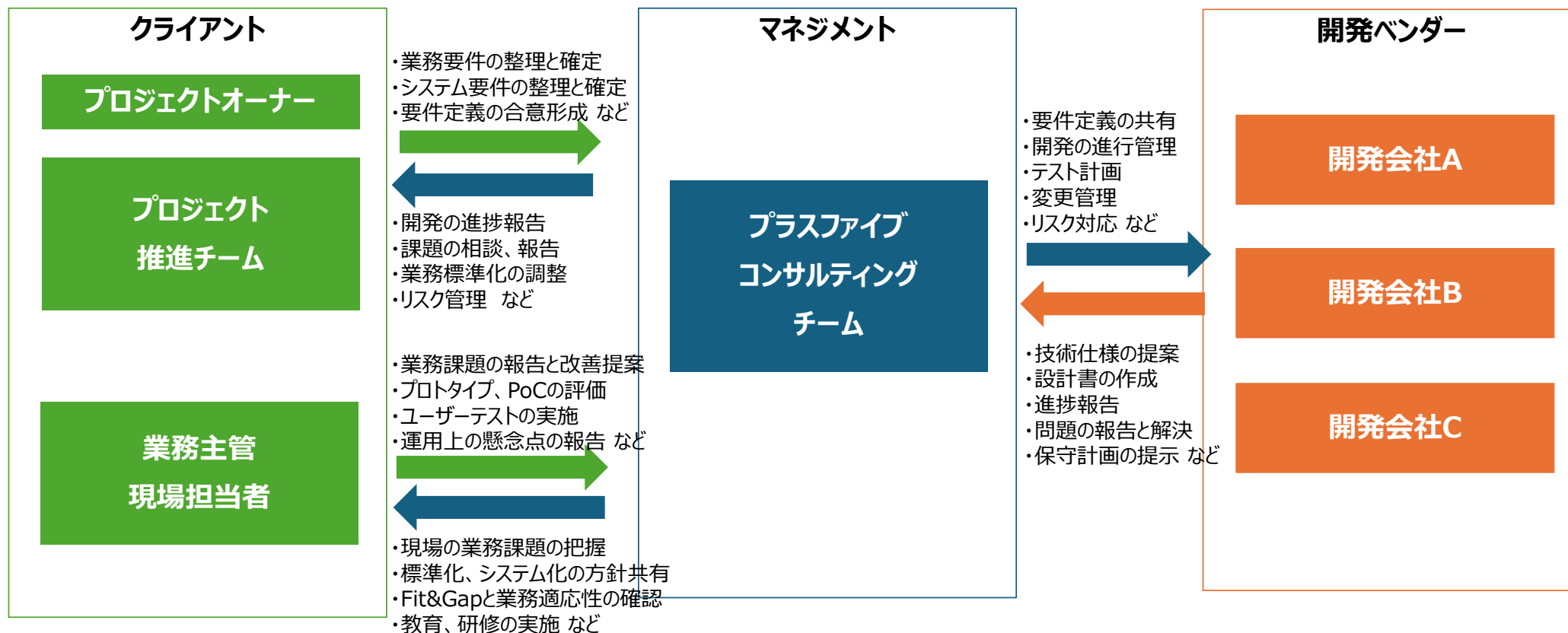


プロトタイプ開発やFit & Gapの対象は打合せの上決定いたします。

3.実行支援型プロジェクトマネジメント

PLUS FIVE

開発実行フェーズにおいてはクライアントと開発ベンダーの間に入り、業務要求の伝達と開発課題の解決を支援します。
中立的立場の**第3者がクライアントとベンダーの間に入り状況を評価**することで安定したプロジェクト推進が実現します。



4.開発評価・初期稼働に向けたチーム推進

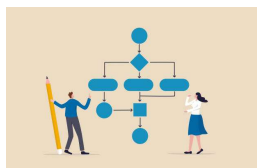
PLUS FIVE

システム評価フェーズは**クライアントが主体となって実施**する以下の内容を**伴走支援**します。

運用テスト支援

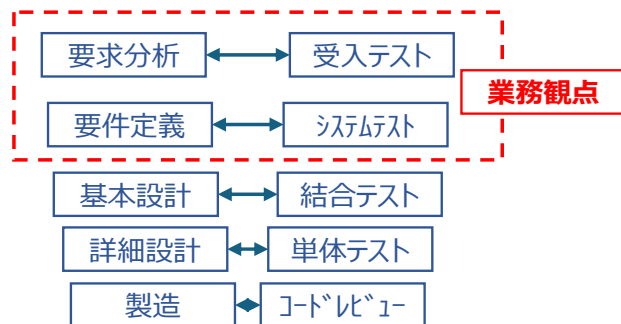
- 新業務フローに沿った業務シナリオ作成支援
- 要求分析・要件定義の観点からシステムを評価

新業務フロー



受注/購買/在庫管理/
マスタ管理/生産管理/
出荷管理/物流管理/
品質管理/財務会計/
管理会計 ...

システム開発V字モデル



受入・稼働判定

- システム特性に合わせた稼働判定項目と判定基準の作成支援
- 稼働判定会議など、経営層説明資料の作成支援

稼働判定項目イメージ

システムテスト	• シナリオ消化率 • 残課題対応予定
ユーザテスト	• 受入テスト消化率 • 残課題対応予定
移行リハーサル	• リハ完了状況 • 残課題対応予定
課題対応	• 全体課題解決状況 • 障害、変更対応状況
データ移行	• データ移行完了状況
データ検証	• データ検証完了状況
ユーザ習熟度	• 教育の完了状況
運用整備	• マニュアル作成状況 • 運用・サポート体制

初期稼働準備

- 初期稼働に向けた準備項目の作成支援
- 準備項目に則り、ベンダー・業務部門に対して各項目の実施を推進

初期稼働準備項目イメージ

システム面	• インフラ環境準備 • アプリケーションリリース • ジョブスケジューリング
データ面	• マスタデータ登録 • トランザクションデータ移行、整合性チェック
業務面	• マニュアルの配布 • 新業務フローの浸透 • 業務部門の承認
人・組織	• トレーニングの完了 • マニュアルの浸透 • FAQルートの確立 • 権限と役割の浸透
運用・保守	• 障害時対応フロー • サポートデスク、体制 • コンティジェンシープラン

5. プラスファイブのコンサルティングサービス

PLUS FIVE

お客様ごとにシステム導入へのご要望や現状課題は異なります。プラスファイブは対話を通し、お客様に奔走し、最適な解決策の立案から実現・定着までを支援いたします。

■お客様の課題

DX予算で何をすべきか？	業務が複雑で標準化ができない	外注先の管理を効率化したい
原価が見えない	生産性・標準タイムがわからず評価ができない	ROIを可視化したい
コンサルタントの言うことがわからない	プロジェクトがうまく進行しているのかわからない	今すぐデジタル化したい課題がある

And More...

抽象度の高いご要望から具体的な課題解決まで、お困りのことがありましたら是非一度ご相談ください。